

海から上がってきたミシシippアカミミガメ

山本 明男¹・亀崎 直樹²

¹ 421-0523 静岡県牧之原市波津508-3 カメハメハ王国

² 654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

A case of *Trachemys scripta elegans* emerged from the sea

By Akio YAMAMOTO¹ and Naoki KAMEZAKI²

¹ Kamehameha, 508-3, Hazu, Makinohara, Shizuoka, 421-0523, Japan

² Kobe-Suma aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

筆者の一人、山本は2011年9月5日午前11時頃、静岡県浜松市中田島の海岸線で砂浜の観察をしていたところ、海からミシシippアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* (以下、アカミミガメ) が上陸してくるところに出くわした(図1)。本個体の表皮は白く、通常の個体の色彩とは異なっていたが、頭部の色彩や形態からアカミミガメと判断された。サイズは計測していないが、これも形態から雌と推察された。アカミミガメは日本に侵入し、その分布を広げているが、今回の観察例は、本種が海洋を介して分布を広げている可能性を示唆している。特に9月3日の朝に高知県に上陸した台風12号の影響で西日本各地は大雨が降っており、その影響で増水した川から海に流されたカメが上陸したものと考えられた。本種の拡散を防ぐには、海に流されやすい河口付近に生息する個体を駆除することが望ましい。



図1. 海岸に上陸したアカミミガメ